

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	パンダキッズ兵庫		
○保護者評価実施期間	2025年9月15日		～ 2025年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	2025年9月1日		～ 2025年9月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年9月1日		～ 2025年9月30日

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・療育の活動時間の十分な確保・ 活動内容のバラエティさの充実	・基本的な生活習慣の向上と確立に力を入れている。また5領域を踏まえた活動により新たな経験と利用者の強みを生かせる機会を増やし自信を持てることを増やす。	・利用者の自信を高めるためモチベーションをいかに上げるを日々模索する。
2	・個別支援計画の質	・利用者一人ひとりに合わせたきめ細かい計画を作成し、定期的に見直している。	・個別支援計画の質を上げるためにモニタリングをよりきめ細やかにする。
3	・職員の専門性	SST(ソーシャルスキルトレーニング)や感覚統合に基づいた活動をプログラムに組み込んでいる。	・保護者からの満足度を高めるように配慮している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員の専門性を維持・向上をおこなう。	・発達障害に関する情報について職員間が情報交換の機会を確保できる時間を持つ。	・朝夕のミーティング以外にも時間のある時は、本児と保護者の関しての情報交換をこまめにする。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	バンダキッズ兵庫					公表日	2025年10月17日	
		利用児童数				2025年10月1日	回収数	17
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	4	1	0	子供も狭いと言っている。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	2	0	1	・職員配置は、適切ですか。	・神戸市の基準を満たしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	0	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	0	0	1	・楽しく過ごせる空間になっていると思います。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	0	0			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	0	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1	0	1		・お子様に必要な項目を選択、目標を立案し、計画書を作成しています。6ヶ月ごとにモニタリングを行い、計画の見直しをしています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	0	0	1	・毎回活動内容を変えて下さるので様々な刺激を受けています。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2	1	5		・保育所、こども園、幼稚園様をご利用されている方が利用してくださっています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	4	1	3	・こちらから質問が無くても適切なアドバイスを頂けると助かります。	・必要に応じて個別に対応しております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	17		0	0		支援時の様子を連絡帳やインスタグラム、毎月の機関紙で共有しております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	0	0	1		・6か月に1度のアセスメント・モニタリング以外にも必要に応じて支援しております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	5	5	3		
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	0	0	0	1			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	0	0	1		・連絡帳での密なる情報交換と送迎時保育士が添乗してお宅までお邪魔する時に口頭でのやり取りを欠かさず行っております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	1	2	0		・毎月発行の機関紙の配布により行事予定とお子様の事業所での活動写真等を載せております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1	0	2		・防犯上の理由の為防犯マニュアルの掲示は控えさせていただきます。その他マニュアルに基づき訓練を実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1	0	1		・職員で火災、地震、増水、熊対策を年間を通して実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	2	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	2	2	2		・事故（怪我等を含む。）が発生した際には、欠かさず事業所から速やかに保護者の方に連絡を入れ状況を説明させて頂いております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0		・お子様と保護者が安心して通所出来るように送迎車には、保育士が同乗しております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	2	0	0	・事業所に通うのを待ち遠しく思い楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	0	0	0	・専門職である言語聴覚士を配置しているのが良い。	・検討、また職員も今後さらに学びを深めていきたいと思っております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	パンダキッズ兵庫		公表日	2025年10月17日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		部屋の広さに合わせて、人数的に問題がないか気を付けながらクラス分けをしている。また、部屋の広さを考慮しながら活動内容を工夫している。	限られたスペースではございますが、より工夫を重ね対応をしていきたいと思っております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		活動内容に応じてパテーションで仕切り、環境的配慮を行っている。	限られた空間を有効に活用しておりますがご迷惑をおかけしている部分がございます。大変申し訳ございません。今後もお困りの際は、お気軽にお声がけくださいますようお願い申し上げます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃は消毒も毎回欠かさずに行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		月に1回の職員会議や各事業所の代表会議等で話し合いをもつようにしている。	随時打ち合わせや引き継ぎ等を行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		オンラインの研修を積極的に取り入れ、資質の向上に繋げている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			お子様一人一人に対して、オーダーメイドの支援計画を作成させていただいております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		お子様の現状を適切に把握し、お子様に必要なスキルを身に付けてもらえるよう、具体的な目標を設定している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		話し合いの場を意欲的に作り、相談等を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		小集団療育では、療育担当者が打ち合わせをし、チームで保育している。保育後には評価反省を行い、次の療育につなげている。	

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		子どもの様子をよく観察し、評価しながら活動内容を展開している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		担当を中心に打ち合わせをしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		休みのスタッフにも共有できるよう、ノート等を用い共有をしている。	朝・夕のミーティングを実施しております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		時間の使い方を工夫し、次回の療育につながるような話し合いを心がけている。	スタッフ全員が集まり話す機会はあまり取れておりませんが、情報共有ノートを使用し、共有しております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録をもとに、評価反省を行っている。支援方法についてもチームで見直すようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月ごとのモニタリングを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		招集があれば児童発達支援管理責任者と対象児童の担当者が参加できるよう調整している。	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			必要に応じて、ご対応させていただきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			必要に応じて、ご対応させていただきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			必要に応じて、ご対応させていただきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)	○			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	31	(31は、事業所のみ回答)	○			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○				
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○				
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			ご契約時及び変更・更新があり次第、随時ご説明をさせていただきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		更新の度に、同意を得ようとしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		更新の度に、同意を得ようとしている。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		○		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		現在、保護者会は行っておりません。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的に会報を作成している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			重要書類は、鍵付きキャビネットに保管する等注意しております。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		職員会議で危機管理マニュアルをもとに研修を行い、緊急時に迅速に対応できるよう努めている。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		職員のみでのシミュレーションを行い、避難路や役割分担の確認をしている。	年に2回、避難訓練を行っております。お子様に参加していただく場合は、事前にお声がけいたします。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		給食やおやつ提供時に気をつけ、確認するようにしている。	イベントやおやつ等、食物を扱う際は保護者様と情報共有を徹底していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎月作成し、共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		職員がチェックシートに記入し、それをもとに職員会議で話し合いをもつようにしている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				